

総合基本計画審議会（第4回）議事録

1 日時 令和6年5月27日（月） 13:30～14:30 2 場所 本庁 大会議室 3 出席状況 唐津市総合基本計画審議会委員 19名（※12名欠席） 事務局：政策部 草野部長、森副部長 市政戦略課 古賀係長、徳田主査、犬丸副主査、脇山職員 支援事業者：有限責任監査法人トーマツ 堤氏	【第4回 審議会】
議 事 内 容	
1 開会 2 あいさつ ○ 本日は、事務局より第3次唐津市総合計画基本構想（骨子案）パブリックコメントの結果報告のほか、基本構想（素案）が示されることになる。 ○ これまで委員各位にいただいた意見を踏まえ、市民や関係団体など読み手にとって分かりやすい構成になるよう、その内容について審議していきたい。 3 報告 基本構想骨子案パブリックコメントの実施結果について 報告事項について事務局より説明 （説明資料） 資料1：基本構想骨子案パブリックコメントの実施結果 資料2：第3次唐津市総合計画基本構想骨子 ○ 意見の提出件数が1件のみというのは少ないと感じるが、パブリックコメントの実施方法について問題はなかったか。 ○ 市ホームページの閲覧数から分析すると、当該ページのアクセス数は575回で、334人がアクセスしたことが分かった。そのため、今回のパブリックコメントに対して、市民の関心がなかったということはないと考えている。 ○ 実際に、総合計画に限らずどの計画においてもパブリックコメントを実施すると、「お役所言葉が多い」「分かりにくい」などの意見が多々見受けられることがあるが、今回それがなかったことについては事務局として前向きに捉えている。 ○ また、現行の第2次唐津市総合計画の策定時とは違い、市公式SNSを活用して周知を行い、市ホームページにアクセスしやすいような工夫を行っている。 ○ なお、12月末には基本構想案・前期基本計画案という形で2回目のパブリックコメントを実施する予定のため、まだ市民意見を聴取する機会は残されている。 ○ 基本構想骨子案の修正を伴う意見ではないため、骨子案の内容を骨子として決定したいと思うがよいか。 （委員各位 異議なし）	会長 事務局 委員 事務局 会長

4 議題 基本構想素案について 事務局より議事内容を説明 (説明資料) 資料3：第3次唐津市総合計画基本構想素案 資料4：基本構想骨子からの主な変更内容 ○ 市民に分かりやすくするという意図で、まちづくりの基本方針を冒頭部に、市を取り巻く環境や課題などは後半に掲載するという構成は良いと思う。 ○ 人口動態について、50年後に市の総人口が約半数の5万人になるということは衝撃的であると思うが、このことが「市を取り巻く環境や課題」の各分野において触れられていない。これを市民にもっと伝えられるような構成で今後の方針を作る方が分かりやすいと思う。 ○ 人口に関する課題については、より市民に伝わりやすい内容を検討していきたい。 ○ 人口動態について、基本構想の実現のためには、人口減少の危機を乗り越える必要があると考える。この危機を乗り越え、選ばれるまちになるための施策を推進するのは大変労力が大きいことだと思うが、このままだと消え行くまちになってしまうということを、みんなが認識できるような基本構想になるとより良いと思う。 ○ 人口については、国全体として減少している中で、特に本市では、若い世代が流出し戻ってきていないのが問題となっている。このような中、市民アンケートも踏まえて、めざすまちの姿を設定している。このめざすまちの姿に向けて人口減少問題に関してどのような取り組みを進めていくのかは、もう少し分かりやすく記載をしたいと思う。 ○ 人口減少は避けられない状況であるが、一方でその中においても、素晴らしいまちである唐津をどのように引き継いでいくのか、というようなエッセンスを入れる必要もあると考えている。 ○ また、人口減少への対策は行政だけでできることではないので、多様な主体がそれぞれできることを実施していくという観点を基本姿勢として設定している。 ○ 具体的な取り組みについては、基本計画の中で整理をしたいと考えている。 ○ 人口推計について、この減少をどの程度食い止めるのか数値目標があれば明確でより分かりやすいものになるのではないかな。 ○ 人口を数値目標に置くことについては、設定の根拠を示すのが難しく、現段階では示せるものがない状況である。 ○ 人口減少のカーブをどう和らげていくのか、現実的な根拠をもって示すことができればいいと思うが実際は難しいと思う。	事務局 委員 委員 事務局 委員 事務局 事務局 委員 事務局 委員
---	--

○ 人口減少については、やはり明確な数値目標が必要だと思う。それが難しいのであれば、第3次唐津市総合計画の計画期間が終期を迎える頃、推計値が10万人を切る推計になっているので、10万人を切らないというような目標を立てるのはどうか。	委員
○ 事務局としても人口が推計値を切らないようにという考え方はもっているが、具体的な数値の根拠などを考慮すると目標設定が難しい。	事務局
○ 人口減少について、地域別の人口動態を基本構想の中で触れることができれば、各地区別で人口減少に対する課題を抱いてもらえるのではないかな。	委員
○ 論点データ集には地区別人口の推計を示している。基本構想の中で地区別人口を含めるとボリュームを感じるため、一旦は市全体の推計のみ掲載している。 ○ 市を5つのブロックに分けた地域別ワークショップも実施しており、各地区別の意見を踏まえたうえで基本構想の素案を作成している。地区別の特色を踏まえたものは基本計画で整理ができないかと考えている。	事務局
○ 基本目標1の内容について「自助の意識付け」は、既にほとんどの人ができているため「更なる強化」というような表現の方が適切だと思う。 ○ また、「共助の連携強化を推進」についても「推進」ではなくもっと連携を高めるようなフレーズへの変更が必要だと感じた。	委員
○ いただいた意見をもとに、表現をあらためよう検討したい。	事務局
4 閉会 以下余白	